

体育大会は延期 (予定は9, 10月頃)

新型コロナウイルス感染防止の観点から、荒尾市教育委員会の判断で、5月23日(日)に予定していた本校体育大会を含め、荒尾市すべての小・中学校の体育大会・運動会が秋に延期されることとなりました。(開催日が決定したらお知らせします)

3年生は、4月の始業式後から早速、応援団・ダンス・マスケームのリーダーを決定し準備を始めました。また、吹奏楽部は行進曲等の演奏準備を始めました。

そして、4月30日(金)の結団式では、生徒会より体育大会テーマ「翔～つなげ!492の闘志～」の発表があり、各団団長(赤団:前川楓稀くん、青団:藤好悠愛くん、黄団:宮本公寛くん)を中心に全体練習が本格的に始まりました。

そんな矢先の「延期」だったため、5月12日(水)の各学年体育の時間を使って、以下の点について生徒たちに話をしました。

- ①これまでの練習の頑張りは素晴らしかったこと。またマスク着用、手洗いの徹底、不要不急の外出の自粛等、感染症対策をよく頑張っていたこと。
- ②荒尾市の全小中学校の体育大会が「延期」になったこととその理由。
- ③人は逆境の時にどう考え、どう動くかが大事であること。プラス思考で次の目標を設定しなおし、その目標に向かって、あきらめずに挑戦し続ける「たくましさ」を身につけるチャンスであること。「中止」ではなく、「延期」であること。
- ④今後もさらに感染対策を徹底し、何としても中体連大会や県吹奏楽コンクール等、目標とするものが実施できる環境を整えておくこと。
- ⑤秋頃の開催予定。その時は地域や保護者を招待し、今回練習した分、心に残る最高の体育大会を見てもらうよう、仕切り直しをして頑張ろう。

生徒たちは、ショックを隠しきれずにいましたが、今は状況を理解し、次の目標を定め、勉強にスポーツに頑張っています。悲しみから立ち上がり、前を向き、一生懸命頑張っている姿に拍手を送りたいと思います。この姿こそ、めざす生徒像「夢や目標に向かって挑戦し続ける生徒」だと思えます。成長した姿を見ることができて本当に嬉しかったです。

「熊本の学び」アクションプロジェクト事業始まる

このプロジェクトは、荒尾市の3つの中学校が県教育委員会から学力向上重点地域指定校に指定され、年間200時間程度、学力向上アドバイザー等を派遣していただきながら、生徒の学力向上や教員の指導力向上をめざすものです。学力向上をめざす本校にとっては、有り難い事業です。指導助言をいただきながら、教員一人一人の授業力を向上させ、誰一人取り残さない学びの保障に取り組んでいきたいと思えます。

<研究主題>

多様性を尊重し、一人一人に心の居場所のある学校づくり
～一人にこだわって、チームで対応する取組をとおして～

荒尾市教育委員会から「生徒指導研究推進校」として昨年度から本年度までの2年間、研究指定を受けました。研究発表大会日は、11月17日(水)の予定です。

「心の居場所づくり」「授業づくり」「なかまづくり」の3つの部会に分かれ、昨年度の成果と課題をもとに、本年度の取組について協議を行い、研究を進めています。